

# 南 令和6年度 敦賀南小学校 スクールプラン

## 児童の実態

保護者の願い  
地域の活性化  
教育公務員の使命

【学校教育目標】  
すべての南の子に笑顔

## 敦賀市「知・徳・体」令和プラン

知：学びを通して考える力  
徳：内面を豊かにする力  
体：たくましく生きる力  
「子どもたちの夢と希望を家庭・学校・地域で」

### 夢

### 【めざす児童像】

### 仲間

### 挑戦

ひとりであるく【自律する子】

みんなとあるく【協働する子】

力のかぎりあるく【あきらめない子】

## 【重点目標】

### 夢〈学び続ける力〉

- ① 学びを楽しみ、学び続ける意欲と人間性
- ② 多様な学び方を支える知識・技能の定着
- ③ 論理的に考え、判断し、伝える力

### 仲間〈豊かな心〉

- ① 自他および生命を慈しむ心
- ② 人権を尊重し多様性を認める心
- ③ 法令を遵守し公民としての誇りを持つ心

### 挑戦〈たくましい身体〉

- ① 健康で健全な生活を営む身体
- ② 意欲的に継続して取り組める身体
- ③ 危機・危険を回避できる身体

### 地域活性化〈南の子〉

- ① 家庭と地域が共に育てる南の子
- ② 学びがつながる南の子
- ③ ふるさとを元気にする南の子

## 【具体的な取組】

### ① 学びを楽しみ、学び続ける意欲と人間性

＜家庭学習改革＞「やりましょう」から「やりたい」へ  
学習用端末の活用し毎日の家庭学習の見直しを図る  
学ぶ意欲を高める家庭学習へと改革をスタート  
＜自由進度学習＞自分で「選ぶ」自分で「進める」  
授業において課題や学習方法を自己選択し、主体的に学習を進める「自由進度学習」により学ぶ意欲を高める  
② 多様な学び方を支える知識・技能の定着  
＜学習の個別化＞あなたの選んだやり方が「一番いい」  
学習進度や理解度に応じた学習方法や課題を提供（紙、デジタル、集団、個別等）個に応じて柔軟に提供する試み始める  
＜学習権の保障＞学びを「止めない」  
校内サポートルームや遠隔システム・デジタルドリルにより、教室外でも学べる環境を工夫して提供  
③ 論理的に考え、判断し 伝える力  
＜個別最適な学びと協働的な学びを一体化＞「学び方」を学ぶ  
Google、ロイロ、Canva、Figjam、Padlet等、個に応じて自分の考えを整理・表現・共有できるアプリを使った授業を実施  
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「同調圧力」「正解主義」から脱却し、正解を求める授業から、自分なりの論理が構築された「最適解」や「納得解」を求める  
＜論理的思考＞「わかりやすく」伝える  
「自分の考え」を「目的」に応じて、必要な情報を「選択・整理」し、相手にわかりやすく「まとめ・伝える」力をつける

#### 【目標】

デジタルドリルの効果的活用…研究・検証の実施  
学習アプリの効果を検証…研究・検証を数値化する  
校内サポートルームの効果検証…個人の登校目標達成

### ① 自他および生命を慈しむ心

＜命の教育＞あなたの命は「かけがえのない命」  
「道徳教育」「他者を尊重」を基本とした学級経営により自己肯定感を高める教育活動を展開  
＜いじめ/不登校＞あなたの「ありのまま」でいい  
所属欲求・承認欲求を充足させ、自己肯定感を高める学級・仲間づくりを強化 多面的なアセスメントに基づいた児童理解と教育相談を実施し、発達支持的生徒指導を展開  
＜読書活動＞本を通して「世界・過去・未来」の人と出会う  
読書ラリー、語り聞かせにより、慈しむ心や好奇心を育てる  
② 人権を尊重し多様性を認める心  
＜人権学習＞「子どもの権利条約」の実現  
人権に関する知的理解を進め、「自他の権利」「他者への敬意」を考え、人権意識を高める教育を計画的に実施  
言語環境を整え人権感覚を磨く  
＜ダイバーシティ&インクルージョン教育＞みんなが違っていい  
多様な価値を認め、差別することなく受容・包括できる集団の育成のために、特別支援教育を充実  
③ 法令を遵守し公民としての誇りを持つ心  
＜個と公＞「自由」と「責任」「義務」と「権利」  
ペア学年・縦割り活動、特別活動を通して、社会性を育てる  
＜法教育＞「法」は一人ひとりを「守る」ためにある  
「きまり」「ルール」の意義、「規範」「善悪」「個人と公」について、物事を法令から捉える教育を充実

#### 【目標】

命の授業・人権教室…低学年・高学年で各1回実施  
いじめ・不登校防止授業の相互参観…各学級2回以上  
自殺防止教室、法令教育の実施…低・高学年 各1回

### ① 健康で健全な生活を営む身体

＜デジタルシティズンシップ教育＞失敗しながら覚える  
SNS やスマホの付き合い方、ネット・ゲーム依存を防ぐ教育を保護者と連携して実施 系統的な情報モラル教育の実施  
＜食育＞「食べることは楽しい」  
「楽しくておいしい」を感じる給食指導への転換を図る  
食育をさらに進め食への関心を高める  
② 意欲的に継続して取り組める身体  
＜業間活動＞「やってみよう」運動に挑戦  
業間運動（マラソン、縄跳び、集団あそび）をペア学年や縦割りを活用して年間を通して実施  
＜体力づくり＞できなくても「大丈夫」  
各自ができる範囲の目標を持って取り組み、体育行事で成果発表を実施（体育学習発表会、マラソン大会、縄跳び大会）  
③ 危機・危険を回避できる身体  
＜安全教育＞「ハインリッヒの法則」  
学校事故を分析、「ヒヤリ・ハット」から重大事故を防ぐ  
交通安全指導強化（登下校指導、通学班会議、交通安全教室、見守り隊との連携） 「新しい危険」（関税・薬物乱用・ネット犯罪等）を防ぐために外部講師を招聘して出前授業を実施  
＜防災教育＞＜避難訓練＞「自助・共助・公助」  
災害発生時における「自助共助公助」を考え行動できる教育  
危険回避能力を育てる避難訓練 「不審者」「火災」「自然災害」「原子力」等シチュエーション毎に実施

#### 【目標】

栄養指導・食育教室…各学級1回以上  
交通安全協教室…3回 薬物乱用防止教室…2回  
防災教室…2回 避難訓練…年4回

### ① 家庭と地域が共に育てる南の子

＜SDGs＞親と子でつくる「持続可能」な社会  
常に制服・体操服をリユースできる教室「リユースルーム」を保護者が校内で運営 保護者が子どもへ発進するSDGsパートナーとしての取組 見守り隊はできなくても通勤途中で子どもを見守る「安全の黄色いハンカチ運動」の拡散  
＜保護者と地域との連携＞「社会に開かれた教育課程」  
水泳学習、マラソン大会など、保護者参加型教育活動を増やす子ども会とPTA 活動の連携、地域の活動への参加を推進  
地域の情報を学校情報通信アプリ Home&School で保護者へ配信し地域と家庭のつながりを学校が応援  
② 学びがつながる南の子  
＜園小連携＞＜小中連携＞「学びの連続性」  
保育園・幼稚園・こども園との交流（行事・遠隔・動画等）を活性化 保育士×教員の連携強化（接続カリキュラムの実践）  
気比中学校区の小中連携事業を教育DXで強化  
＜地域リソースの活用＞「アウトソーシング」  
外部機関・企業の出前授業を積極的に活用 地域指導者の協力を依頼 遠隔でつながる教育活動や授業を実施  
③ ふるさとを元気にする南の子  
＜ふるさと教育＞「つるが好き好き」  
新幹線を通して敦賀のまちの魅力を伝える探究活動を実施  
PRのための動画・プレゼンを作成 地域を盛り上げる活動に積極的に参加

#### 【目標】

SDGs 教室…保護者主催1回、学校主催1回  
園小連携…保育・授業参観2回、検討会3回  
ふるさとプレゼン・PR作成 イベント参加 3回以上

## 【めざす学校像】

笑顔

で登校し

笑顔

で帰宅できる学校

#### 【さらなる業務改善】

教育DX・校務DXのさらなる推進 研修機会の確保  
校内のオンデマンド研修を充実 必要な教育活動の再構築を検討